

高等学校令和6年度（2学年用）教科保健体育科目保健

教科：保健体育科目：保健

単位数：1単位

対象学年組：第2学年1組～4組

教科担当者：（1組：）（2組：）（3組：）（4組：）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館保体701））

教科保健体育の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目	保健	の目標：		
	【知識】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	3単元 生涯を通じる健康 【知識】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること、また、労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにできるようにする。	・指導事項 【3単元 生涯を通じる健康】 1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康 8. 働くことと健康 9. 労働環境と健康 10. 健康的な職業生活 ・教材 教科書、プリント 一人1台端末の活用	【知識】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること、また、労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにできるように主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
後期	4単元 健康を支える環境づくり 【知識】 ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを理解できるようにする。 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であることを理解できるようにする。 ・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていること。自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにできるようにする。	・指導事項 【4単元 健康を支える環境づくり】 1. 待機汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌と健康 3. 環境と健康にかかわる活動 4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動 7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加 ・教材 教科書、プリント 一人1台端末の活用	【知識】 ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを理解している。 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であることを理解している。 ・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていること。自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにできるように主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1 合計
							35